

## 1. 第三者評価結果概要表

作成日 平成21年8月24日

## 【評価実施概要】

事業所番号	2874400431		
法人名	社会福祉法人 ぶどうの枝福祉会		
事業所名	グループホーム 日高愛の園		
所在地	兵庫県豊岡市日高町栗山661 (電話) 0796 - 44 - 1368		
評価機関名	特定非営利活動法人 姫路市介護サービス第三者評価機構		
所在地	兵庫県姫路市安田三丁目1番地 姫路市自治福祉会館6階		
訪問調査日	平成21年7月31日	評価確定日	平成21年8月24日

## 【情報提供票より】(平成21年7月1日事業所記入)

## (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 17年 5月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	18 人	常勤 14人, 非常勤4人, 常勤換算	14 人

## (2) 建物概要

建物構造	木造平屋	造り
	1階建ての	~ 1階部分

## (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	38,000 円	その他の経費(月額)	16,000 円
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	240 円	昼食 540 円
	夕食	420 円	おやつ 100 円
	または1日当たり 円		

## (4) 利用者の概要(7月1日現在)

利用者人数	18 名	男性 5 名	女性 13 名
要介護1	8	要介護2	6
要介護3	2	要介護4	0
要介護5	1	要支援2	0
年齢	平均 83.44 歳	最低 62 歳	最高 93 歳

## (5) 協力医療機関

協力医療機関名	谷垣医院、 由良歯科医院
---------	--------------

## 【第三者評価で確認されたこの事業所の特徴】

「グループホーム 日高愛の園」は、このとおりでも有名な兵庫県北部の豊岡市にあり、ホーム周辺は、山畑が多く、自然環境に恵まれた中に清楚な平屋建てのたたずまいを見せている。ホームは、キリスト教の愛の精神である「仕える精神の実践」、「あなたも行って同じようにしなさい」の2つの理念を、但馬地域の中で具体的に実践していくために5つの運営方針としてまとめあげている。運営者の指導のもと、管理者・職員は、利用者一人ひとりに敬愛を持ち、一致協力して日々の暮らしの支援に努められている。管理者・職員と利用者の表情はともに明るく、ホームにはゆったりとした生活の中に、なごやかな雰囲気が感じられる。また、管理者・職員は、利用者の目線に合わせ、やさしく明るく接し、自立介助のもと利用者の共同生活を意欲的に支援されている。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目: 第三者4)
	前回の評価結果を真摯に受け止め、取り組むべき課題として取り上げて、改善に取り組み、ケアの改善に努力されている。また、その内容を「改善計画シート」に記録して残されている。今後は、現在取り組み中の課題等についても、前向きな検討を望む。
重点項目	今回は、管理者と一部の職員により作成されていたが、今回は、職員全員で自己評価に取り組み、自己評価の内容について職員全員の共有が図られている。
	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目: 第三者4, 5, 6)
重点項目	2ヶ月に1回、開催され、定着してきている。今後は、利用者及び家族などを含む多方面の方々にも出席していただき、報告だけでなく、諸課題についての審議の場となることを期待したい。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目: 第三者7, 8)
	ホームは、家族等が利用者に面会に来られた時や年1回開催される家族会の折に家族等の意見・要望等を聴き、運営に反映している。また、月1回、利用者のホームでの暮らしぶりや健康状態についてのコメント・写真などを送付して、詳しく報告説明されているため、これまでのところ苦情はない。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目: 第三者3)
重点項目	ホームは、地域とのつきあいが大事なことを認識されており、小学校や地区の運動会、地区のお祭りに参加したり、小学校のPTAの訪問を受けたりなどして双方向の交流に努められている。運営推進会議に地区長の出席があり、今後、地域との繋がりが、更に広がることに期待が持てる。

## 2. 第三者評価結果票

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念  地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	母体法人である【ぶどうの枝福祉会】の「仕える精神の実践」、「あなたも行って同じようにしなさい」という2本柱の理念を持っている。独自のものではないが、地域密着型グループホームとして運営の方針に「地域との交流を積極的に取り入れます」と挙げている。		法人の大きな理念を基に、この但馬地域において地域密着型サービスとして何が大切であるかを思考し、日高愛の園がこの地域で果たすべき役割を反映した、事業所独自の理念が創られることを期待したい。また、理念・運営方針共に、入居者や家族にも広く伝える工夫をしてほしい。
2	2	理念の共有と日々の取り組み  管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎朝、朝礼時に運営理念を唱和し、職員全員に意識づけがなされている。日々の業務においては、上から目線ではなく、むしろ下からの目線を心がけ、常に利用者に不快な思いをさせないように、理念の実践に取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい  事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地区の自治会などには加入していない。地域の小学校・保育園の運動会やお宮のお祭りなどに招待され、交流の機会を持っている。開設から5年目となり、地域住民の一員として何が出来るかを考えている。		地区の方から、介護についての講習会開催を打診されている。早期に実現し、事業所と地域の人々が支え合う、双方向関係作りに期待したい。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用  運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の評価まで、自己評価は管理者により作成されていた。今回は分担し、職員全員で取り組み、日々の業務の振り返りや見直しの機会として捉えている。前回の評価結果に対しても、改善目標を挙げ、前向きに計画を立て評価している。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	2ヶ月に1回開催している。地区代表・民生委員・地域包括支援センター職員・施設長ほか職員が参加し、ターミナルの受け入れなどを検討している。第三者評価についても報告がなされている。		
6	9	<p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	地域包括支援センターが開催している地域ケア会議に出席している。ケア会議はほぼ毎月開かれており、情報交換や交流の機会にしている。地区長・民生委員・介護保険課・医師会・社会福祉協議会などの職員や特別養護老人ホーム・グループホーム等の職員、ほか20名ほどの出席がある。		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	毎日の様子を個々に「一日一言コメント」として記録し、月1回写真と同封で郵送している。預かり金については明細書と共に報告している。系列の他施設ともに機関紙「愛の園」を年4回発行し、お知らせ・案内の他、行事の様子や暮らしぶりを知らせている。		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	年1回家族会を開催し、交流の場を持っている。介護保険についての説明会をしたり、相談を受けたりしており、意見・苦情等を積極的に聴けるよう努めている。		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	配置換えによる異動があったが、実際に引き継ぐまでに新しい職場を何度か訪問して馴染んでもらったり、利用者きちんと説明し、送別会を行うなど、ダメージを最小にするための工夫をしている。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	月3回同法人の老健で行われる研修に参加している。毎月の園内研修では介護保険についてなどの勉強会をしている。OJTに重点を置き、現場においてケアの充実が図れるようトレーニングを進めている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	毎年開催されている「全国認知症グループホーム大会」に参加し、同業者との交流の機会を持ち、サービスの質の向上を目指している。また、近隣の施設からの受け入れ研修を実施し、相互に刺激を受け、気づきに繋がる活動に取り組んでいる。		
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前には必ず家族と共に見学をしてもらっている。在宅での様子を聴き取り、1日の時間の流れをなるべく崩さないように配慮している。また、居室に馴染みのある家具などを持ってきてもらうなど、安心感を得てもらえるよう工夫している。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	利用者と共に過ごし支えあう関係 職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている	一緒に過ごし、学び、支えあう関係を築いている。調理や洗濯、畑仕事などで人生の先輩として教えてもらう場も多く、職員はそのような場面を大切にしている。支援する側・される側にならないよう、出来そうなことは、とりあえず声かけをし、してもらおうという支援をしている。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>センター方式（認知症の人のためのケアマネジメントセンター方式）の一部を利用し、本人本位にどのように暮らしたいかの把握に努めている。職員が1～2名の居室担当を持ち、日々の行動や表情から真意を推し量ったり、声かけをして希望や意向を把握している。</p>		
<b>2. より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>居室担当職員が把握したご本人の思いや意向、ご家族の意見や要望を反映した介護計画を作成している。状態が不安定な方には「24時間シート」を利用し、より細かく現状を見極め、ユニット会議で検討して計画を立てている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>6ヶ月に1回見直しを行っている。「日常生活状況」で前プランの達成状況を確認し、「ケアプランの統括」でプランの継続の必要性や新たな課題を挙げ、現状に即した計画作成に活かしている。</p>		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>協力医を持ち、24時間対応の医療連携体制が整っている。状況によっては家族と共に通院介助をするなど、柔軟な支援をしている。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	かかりつけ医の受診支援 利用者や家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時にかかりつけ医を把握し、希望通りの受診ができるよう支援している。家族を通じてのかかりつけ医との情報の交換や、かかりつけ医と協力医との情報交換を取り持つなど、円滑な関係作りに努めている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	過去に1例の事例を持つ。「看取り介護についての同意書」を作成し、主治医と共に家族と話し合いを持ち、対応方針を共有している。また職員に対して、看取りケアについての研修を実施している。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりの誇りを尊重し、穏やかな声かけをするなど、利用者が不快な思いをすることがないように心掛けている。扱う個人情報に対しては、漏洩防止、秘密保持の徹底が図れている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切にし、読書をしたり、テレビを見たり、散歩をしたりと、ご本人の気持ちを尊重して個別性のある支援をしている。朝寝坊をしても朝食をランチ(朝食の昼食兼用)に変更するなど、時間を区切らず柔軟な支援をしている。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立は、利用者がお好きなものを考慮して立てている。食材は職員と共に買い物に行き、準備や後片付けを一緒に行っている。誕生日には、リクエストに応じたメニューにしたがり、育てて収穫した野菜やくだものを摂り入れ、食事を楽しむ支援をしている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	おおむね昼から夕方の、週2・3回の入浴となっているが、希望により柔軟に対応している。入浴を拒む方には無理強いせず、うまく促して入浴してもらっている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	短歌を詠む・絵を描く・編み物をするほか、カラオケ、畑仕事など、それぞれ多彩な楽しみごとがあり、支援している。日々の暮らしの中でお願いできそうな仕事を頼んでみて、新たな役割を得てもらうなど、楽しんで取り組める役割作りを考えている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩や買い物など毎日の外出のほか、喫茶店に行ったり、外食に出かけたりしている。敷地内に畑があり、さつまいもやきゅうりなどの栽培も楽しまれている。できるだけ希望に添って戸外に出られるよう支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関の鍵は終日施錠している。事業所に面した道路が狭く、直線でスピードが出やすいため、リスクが大きい。外出の希望があればその都度同行し応じている。		鍵をかけることで得られる安心に慣れてしまわず、鍵をかけることの弊害を全ての職員と話し合い、認識してほしい。鍵をかけなくても安全に過ごせる方法はないのか検討してもらいたい。

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>消防署立会いのもと、年2回の避難訓練を実施している。夜間の火災を想定し、連絡体制や避難誘導がスムーズに行えるよう訓練を重ねている。今年度中にスプリンクラーの設置を予定している。</p>		<p>地区の消防団と連携し、地域住民も含めた避難訓練の実施を考えている。ぜひ、実現して協力体制を整えてほしい。また、火災以外の災害(地震・水害など)も想定した訓練を行って欲しい。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>1日の水分摂取量の目標を1500ccとし、水分チェック表に記録しているが、目標に満たない方が多い。献立は職員が順番で1週間分を考えている。1日30品目を目標に、朝は繊維質の多い物、季節の物・畑での収穫物などを考慮している。食事量は残量を記録している。</p>		<p>脱水症の危険を認識し、水分摂取量の目標を達せられるよう、1日の摂取の計画を立て直してほしい。また献立表は定期的に栄養士に点検してもらい、専門的なアドバイスを受けてより良い食事の支援に繋げてほしい。</p>
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>リビングは吹き抜けになっており、開放的で明るい。花を生け、入居者の作品が飾られてゆったりした雰囲気を持つ。ソファや冬はこたつを置く畳のスペースがあり、それぞれお気に入りの場所でくつろがれている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>洋室のほか、ほとんど段差のない畳敷きの和室もある。使い慣れた家具、テレビなど好みのものを持ち込み、個性のある居室となっている。</p>		

 は、重点項目。